

論壇

不動産バブル崩壊も

「成功は失敗のもと、失敗は成功のもと」。これはある著名な経営者がよく使う言葉だ。ビジネスがうまくいっているときには必ず落とし穴が待っている。だから用心しなくてはいけない。ただ、ビジネスがうまくいっていないからと言って、将来を悲観する必要はない。必ず先にはチャンスが待っているものだ。

禍福は糾（よ）る縄のごとし、といふことだ。言い尽くされた言葉ではあるが、経済の先行きを考える時、この言葉が本当に重要な意味を持っていると痛感することがし

重元 伊藤 元重
機構大教授 開発東大 研究東大 総合事務 理事

ばしばある。

最近の韓国経済を見ていると、

この言葉が頭をよぎる。韓国経済は1997年のアジア通貨危機で大変な状態に陥った。経済はどん底状態になり、日本をはじめとして国際社会の多大な支援を受けた。しかし、それから後の10年の

なかなか動けない日本との違いを見せている。

通貨危機で大変な状況になった危機バネが働いて、日本ではできないような大胆な改革を實行してきたのだ。まさに、失敗は成功のもと、ということを示した、この10年の韓国の軌跡だ。

韓国経済 成功に潜む落とし穴

韓国経済の復活には目を見張るものがある。

日本の家電メーカーを駆逐するサムスン。トヨタやホンダなどを追って、グローバル市場で売り上げを伸ばす現代自動車。アジア全域で大成功をおさめる韓流のドラマや音楽。国としても、米国とEUとの自由貿易協定を締結して、

しかし、急速に成長する経済には、深刻な問題が潜んでいるものがある。リーマン・ショック後、

韓国の不動産価格は下落を始め、いまやバブル崩壊の様相を呈し始めてきているようだ。家計部門の債務は膨れ上がり、不動産価格が下落すれば破産状態に陥る人も多く出ている。

先日、私の出演したテレビ番組で、何十棟も放置された集合住宅が廃墟となって地域の治安にも影響が及ぶような、深刻な映像が流れていた。サッカー場が10面以上もとれるような広大な場所でも、建設上で放置された集合住宅が何十棟も、荒れ果てている光景を想像してみてもいい。

今日の韓国経済を見ていると、「成功は失敗のもと」というフレーズが頭をよぎってしまふ。私は韓国経済の専門家ではないので、周りの専門家にも少し詳しい話を聞いてみたいと考えているが、隣国の経済の状況には無関心ではない。ちなみに、朴大統領が、不動産価格の低下の問題にきちん

90年代日本と同じか

今韓国経済を見ていると、「成功は失敗のもと」というフレーズ

が頭をよぎってしまふ。私は韓国経済の専門家ではないので、周りの専門家にも少し詳しい話を聞いてみたいと考えているが、隣国の経済の状況には無関心ではない。ちなみに、朴大統領が、不動産価格の低下の問題にきちん

と対応するように指示を出したという報道もある。

韓国にかぎらず、どの国でもマクロ経済全体に大きな影響を及ぼすのが不動産価格の動きである。過熱した不動産市場が暴落すると、国民全体に大きな影響が及ぶ。また、不動産バブルが崩壊し始めた時、政策によってそれを止めることは難しい。バブル崩壊がいかにも恐ろしいものか、日本人が一番よく知っているはずだ。

一部の韓国の専門家は、いま韓国経済に起きているのは、1990年代の日本で起きたことと同じである、と指摘する人もいる。当時の日本といまの韓国が同じかどうかは別として、今後、隣の国の経済動向から目を離すことができ

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。